



(添付書類)
事業報告



株主のみなさまへ

マックスは、『人』が尊重され、『人』が成長することにより、会社も成長すると考えており、社是の実現に向けた経営基本姿勢として「いきいきと楽しく力を合わせ、皆揃って成長していく集団を目指す」と定めております。

役員・社員一人ひとりが社是を正しく理解・実践し、事業活動を通して社会課題の解決を図り、株主のみなさま、お客さまをはじめとするステークホルダーとともに、持続的な企業価値の向上を目指しております。

社 是

- 一、良い製品を責任をもって供給する
- 一、全従業員の生活の向上と
人材の養成に努める
- 一、社会に奉仕し、文化に貢献する
堅実な前進を期する

経営基本姿勢

いきいきと楽しく力を合わせ、
皆揃って成長していく集団を目指す

1. ガラス張りの経営に徹する
2. 全員参画の経営に徹する
3. 成果配分の経営に徹する

代表取締役社長
黒沢 光照

添付書類

事業報告 2021年4月1日～2022年3月31日

1. 企業集団の現況に関する事項

1 事業の経過及びその成果

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中、個人消費など一部に足踏みがみられたものの、持ち直しの動きが続きました。

当社インダストリアル機器部門に関連する住宅市場では、貸家や分譲住宅を中心として国内新設住宅着工戸数が前年に対して増加しました。

海外経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が

緩和され、回復基調が続きました。米国は設備投資がやや鈍化したものの、個人消費や住宅着工が緩やかに増加し、欧州は一部で厳しい状況が続いているものの、設備投資や生産などで持ち直しの動きがみられました。

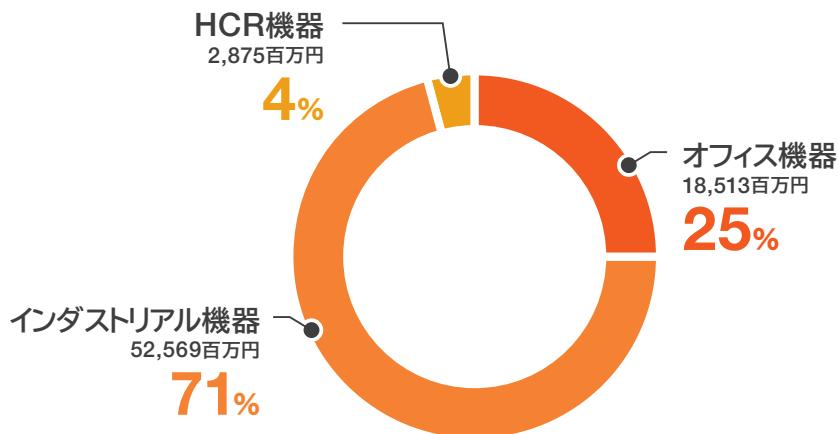
一方で、世界的な原材料価格の高騰や物流コストの上昇、調達や供給面での制約などが企業収益に大きな影響を与えました。

このような状況の下で、当期は各セグメントで売上高は増収となりました。特に、好調な市況と人手不足の恒常化を背景とする鉄筋結束機「ツインタイヤ」とその消耗品の伸長が、当期の増収を牽引しました。セグメント利益では、オフィス機器部門とインダストリアル機器部門は増益、HCR機器部門は円安に推移した為替の影響などから減益となりました。

売上高は739億5千8百万円（前期比15.5%の増収）、営業利益は74億9千8百万円（同12.2%の増益）となりました。経常利益は82億8千2百万円（同21.3%の増益）、親会社株主に帰属する当期純利益は60億9千万円（同18.2%の増益）となりました。



部門別売上高構成比



部門名		売上高	前期比増減率
オフィス機器	国内オフィス事業	7,284百万円	△2.3%
	海外オフィス事業	4,644	18.3
	オートステープラ事業	6,584	15.9
	部門計	18,513	8.5
インダストリアル機器	国内機工品事業	19,640	4.7
	海外機工品事業	22,590	45.6
	住環境機器事業	10,338	3.2
	部門計	52,569	18.7
HCR機器	部門計	2,875	7.8
合計		73,958	15.5

オフィス機器部門

主要な事業内容

ホッチキス、ホッチキス針、紙針ホッチキス、電動ホッチキス、電動リムーバ、オートステープラ、プラスチックリング製本機、ナンバリング、パンチ、スタンプ台、朱肉、タイムレコーダ、タイムカード、チェックライタ、表示作成機、ラベルプリンタ、チューブマーカ、筆耕ソフト、筆耕マシン、平行定規などの製造・販売

国内オフィス事業

文具関連製品の販売が減少したことに加え、第4四半期には電子部品不足の影響により文字表示機器の販売が鈍化しました。

海外オフィス事業

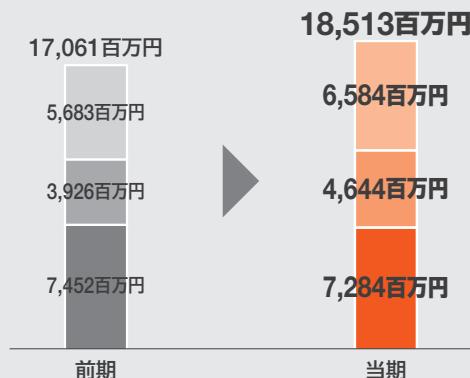
欧州において営業活動が一部制限された影響で表示作成機「ビーポップ」の販売が停滞したものの、東南アジアで文具関連製品の販売が増加したほか、中国でチューブマーカ「レタツイン」の販売が好調に推移しました。

オートステープラ事業

オフィス稼働率の緩やかな回復により、機械・消耗品の販売が増加しました。

売上高

オートステープラ事業 海外オフィス事業 国内オフィス事業



TOPICS

抗菌・抗ウイルス仕様 タイムレコーダ

本体部分に「抗菌加工」、ウインドウ表面のフィルムに「抗ウイルス加工」を施した業界初の抗菌・抗ウイルス仕様のタイムレコーダです。

タイムレコーダは、オフィスや店舗、工場などで従業員の出勤・退勤の勤怠管理に使用され、多くの人が共有します。当社のタイムレコーダは、タイムカードを差し込むと本体がタイムカードを識別して出退勤の打刻ができるため、本体に触れずに操作が可能ですが、さらに安心して使用できる抗菌・抗ウイルス仕様の本モデルをラインナップに追加しました。

※抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。



インダストリアル機器部門

主要な事業内容

釘打機、ガンタツカ、ねじ打機、ステーブル、ネイル、ねじ、エアコンプレッサ、レーザ墨出器、鉄筋結束機、コンクリート用ピン打機、ガスネイラ、ハンマドリル、充電式インパクトドライバ、充電式丸のこ、充電式ピンネイラ、野菜結束機、誘引結束機、袋とじ機、充電式剪定はさみ、浴室暖房換気乾燥機、24時間換気システム、床暖房システム、ディスプレイシステム、住宅用火災警報器などの製造・販売

国内機工品事業

国内の新設住宅着工戸数の前年に対する堅調な推移を背景に、木造建築物向け工具の消耗品の販売が増加したほか、鉄筋結束機「ツインタイヤ」の専用消耗品の販売が伸長しました。

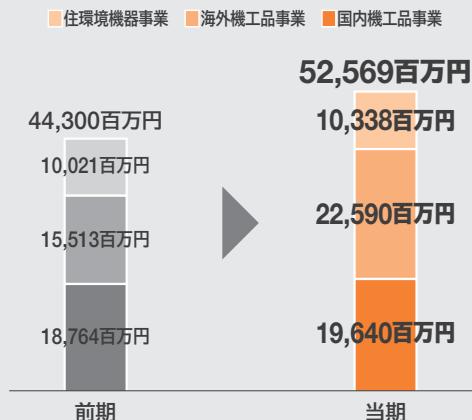
海外機工品事業

米国での建設支出額や住宅着工戸数の増加、欧州におけるインフラ需要の拡大など好調な市況を背景として、鉄筋結束機「ツインタイヤ」及びその専用消耗品の販売が大きく伸長したほか、木造建築物向け工具の販売が増加しました。

住環境機器事業

主力の浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」の販売がリフォーム・リプレースのストック市場と新築住宅市場でともに伸長しました。

売上高



TOPICS

充電式鉄筋結束機「TWINTIER（ツインタイヤ）」

2017年に充電式鉄筋結束機「TWINTIER」を発売して以降、「TWINTIER」シリーズは、2019年に大口径モデル、2020年にウォーカーモデルを投入し、欧米を中心として好調に推移しています。また、製品ラインナップ拡充とあわせて、米国アフターサポート拠点やドイツ支店の新設など、販売体制の強化を進めています。2023年3月には「TWINTIER」の専用消耗品を製造する新工場（タイ）の竣工を予定、今後の需要拡大を見据えた生産能力の増強を行うことで、更なる事業成長を目指します。



HCR (Home Care&Rehabilitation) 機器部門

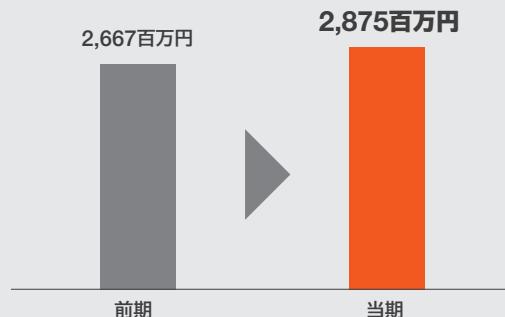
主要な事業内容

車いす、その他福祉用品の製造・販売

HCR機器事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部で営業活動の制限を受けたものの、病院・施設向け販売、レンタル卸向け販売が堅調に推移したことで増収となりました。一方で、原材料価格や輸送費の高騰、円安に推移した為替の影響から収益性が悪化しました。

売上高



TOPICS

多機能車いす 「モダンシリーズ-サユレン仕様-」

使いやすさにこだわったモダンシリーズに足踏み付き左右連動ブレーキ仕様が加わりました。左右どちらかの駐車用ブレーキもしくは足踏みブレーキをかけるだけで、両輪にブレーキがかかる機能です。伸縮式駐車用ブレーキが標準仕様で、軽い力で操作ができます。また、操作位置を高くすることで操作性も向上、フットプレートの高さ変更は工具レスで簡単に調節できます。標準タイプから多機能タイプまでバリエーション豊富に用意しており、幅広い場面で安心してご利用いただけます。



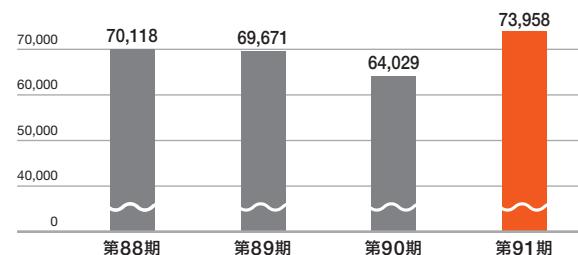
財産及び損益の状況

区分	期別	第88期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	第89期 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	第90期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	第91期(当期) (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高(百万円)		70,118	69,671	64,029	73,958
経常利益(百万円)		7,253	7,405	6,826	8,282
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)		5,064	5,510	5,153	6,090
1株当たり当期純利益(円)		102.91	112.66	105.79	128.39
総資産(百万円)		98,174	99,378	102,538	109,043
純資産(百万円)		73,950	75,972	78,696	83,136

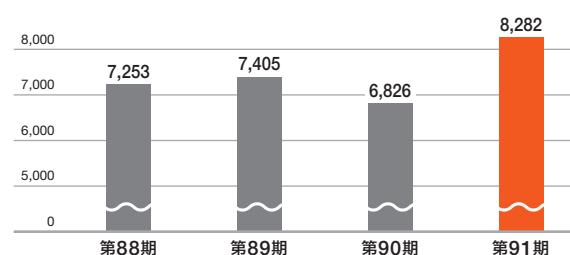
(注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当期の期首から適用しており、当期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式の総数に基づき算出しております。

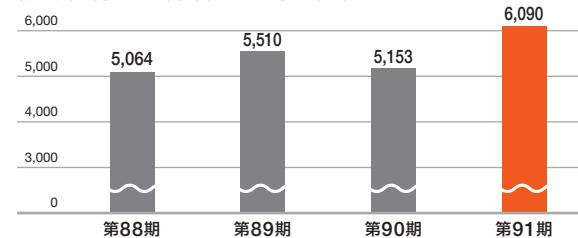
売上高(百万円)



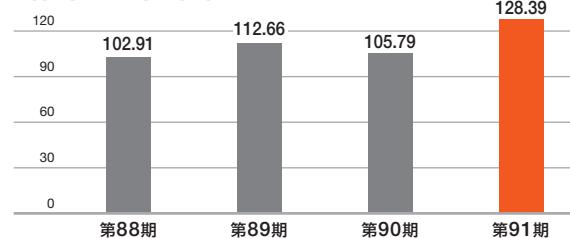
経常利益(百万円)



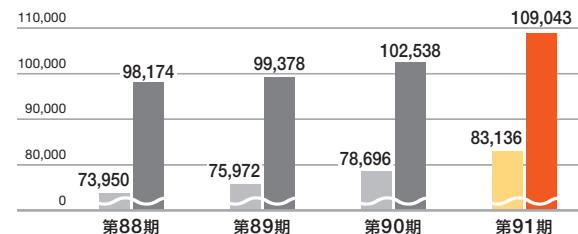
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



1株当たり当期純利益(円)



純資産/総資産(百万円)



2 対処すべき課題

～更なる高みを目指す～「失敗を恐れず、試すことで学び成長する」

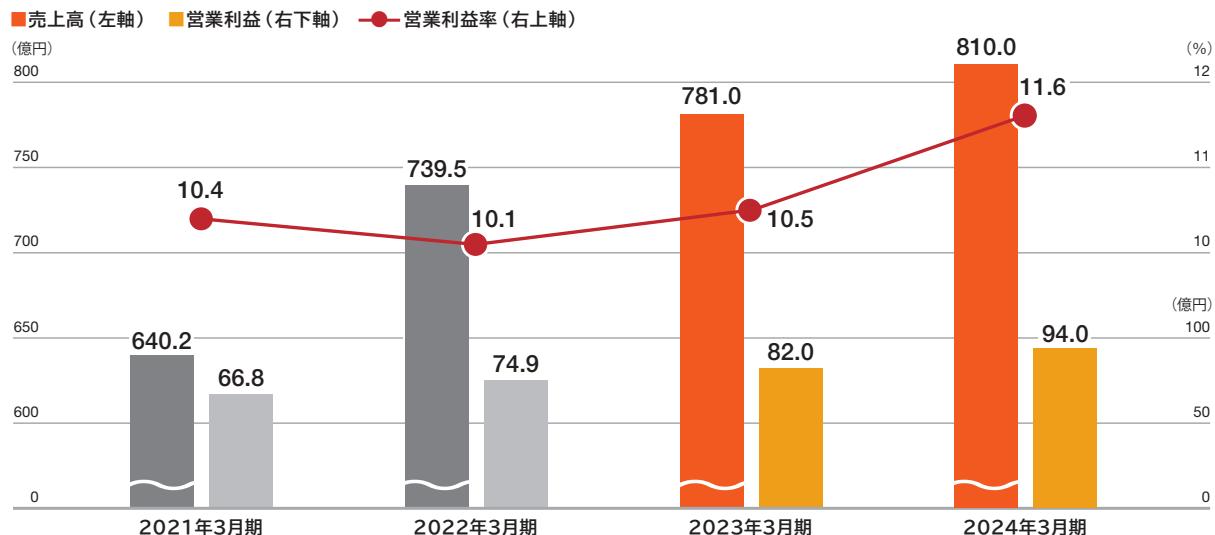
新型コロナウイルス感染症の拡大等によって世界経済は不透明な状況が続いておりますが、当期は鉄筋結束機事業の大幅伸長により、過去最高の売上高、経常利益及び当期純利益を達成することができました。

更なる高みを目指すべく、中期経営計画を修正いたしました。鉄筋結束機事業を成長ドライバーとして、売上高及び各利益につき過去最高の更新を狙ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画 全社業績指標

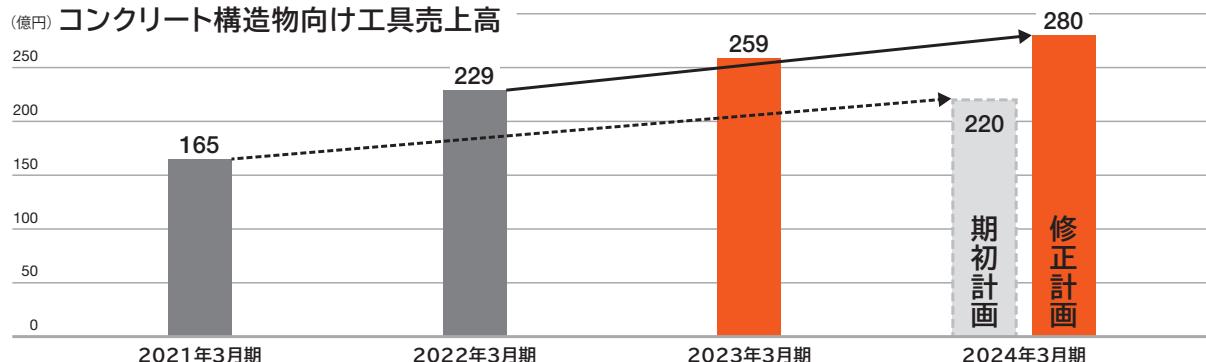
	実績		次期事業計画		修正中期経営計画	
	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	増減率(%)	2024年3月期	増減率(%)
売上高(億円)	640.2	739.5	781.0	+5.6	810.0	+3.7
営業利益(億円)	66.8	74.9	82.0	+9.3	94.0	+14.6
営業利益率(%)	10.4	10.1	10.5		11.6	
親会社株主に帰属する当期純利益(億円)	51.5	60.9	60.0	△1.5	70.0	+16.7
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	6.7	7.5	7.2		8.1	



達成に向けた課題

1. インダストリアル機器の海外事業の成長（鉄筋結束機事業）

鉄筋結束機事業は「TWINTIER（ツインタイヤ）」の発売以来、成長を続けております。鉄筋結束機事業を含むコンクリート構造物向け工具の当期実績は、当期の期初計画を2期前倒しで達成したため、計画を上方修正いたします。販売網の更なる強化とタイ新工場の稼働に向けた活動などを実践してまいります。



2. 国内事業のビジネスモデルの変革による収益性の維持・向上

国内オフィス事業のピーポップ、食品表示用ラベルプリンタなど文字表示事業では、ICT活用による顧客接点の強化及び営業活動の生産性向上により、収益性を維持します。

国内機工品事業では、鉄筋結束機事業での土木市場の開拓などを進めます。

住環境機器事業の浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」では、リフォーム・リプレイスのストックビジネス拡大と工事体制の拡充を進めます。

HCR事業は、中国工場の生産性改善と高付加価値車いすの拡販などを進め、収益性の向上を図ってまいります。

持続的な成長に向けたサステナビリティ経営の実践

当社の使命は、当社の持てる能力や技術を最大限発揮し、お客様や社会が求める良い製品を創り出し継続的に供給することです。この使命を果たすことを通じて社会の持続性への貢献と堅実に存在し続ける企業の実現を目指しております。

（サステナビリティに関する基本方針）

マックスは事業の成長を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 人を尊重し、多様な人の能力を引き出し、人を活かします。
2. 継続的に人と技術に投資し、新しいモノ・コトを創造します。
3. 人にやさしく環境に配慮した製品・サービスを世界中の人々に届けます。
4. 成果は公正・適正に分配します。
5. ステークホルダーと適切に対話を行うとともに、ガバナンスを高め続けます。

2. 会社の株式に関する事項

株式の状況

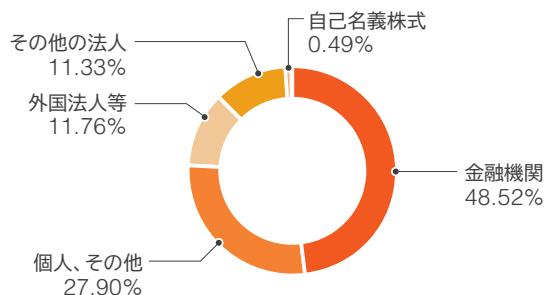
- (1) 発行可能株式総数 145,983,000株
- (2) 発行済株式の総数 47,537,426株
2021年8月31日付で実施した自己株式の消却により、発行済株式の総数は前期末と比べて400,000株減少しております。
- (3) 株主数 4,412名
- (4) 単元株式数 100株
- (5) 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,179	10.95
第一生命保険株式会社	4,284	9.06
マックス共栄会第一持株会	3,810	8.06
日本生命保険相互会社	3,762	7.95
マックス共栄会第二持株会	3,168	6.70
株式会社みずほ銀行	2,234	4.72
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,198	4.65
株式会社群馬銀行	2,114	4.47
マックス従業員持株会	1,141	2.41
日本製鉄株式会社	1,044	2.21

(注) 持株比率については自己株式234,892株を控除して算出しております。

株式分布状況

(所有者別株式数比率) (2022年3月31日時点)





MAX REPORT

2021年4月1日 » 2022年3月31日

コーポレートスローガン・ブランドコンセプト

世界中の暮らしや仕事をもっと楽に、楽しくする

創りたいのは、新しい当たり前。
使う人に寄り添いながら、
大胆に発想して、
今までにない便利さを世に送り出す。

私たちの製品を使っていただくことで、
きっと、楽にできるはず。
もっと、楽しくできるはず。

そうやって、人々の心にゆとりをもたらしたい。
人々の可能性を最大化したい。
そのために、私たちは挑戦し続ける。

MAX

ENGINEERED FOR PERFORMANCE

コーポレートスローガン

ブランドコンセプト

 コーポレート
ビジョン

提供価値

マックスらしさ

マックス株式会社は2022年11月26日に創立80周年を迎えます。



マックスが、創立80周年を迎えることができるのは、お客様、株主様、お取引先様、地域の皆様をはじめ多くの方々のおかげであり、関係するすべての皆様に心より感謝申し上げます。また、創業からこれまでマックスをお支えいただいた、歴代の従業員及びそのご家族の皆様にも、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

当社はコーポレートスローガンとして「**Engineered for Performance**」を策定しました。このスローガンは「マックスが、人々の可能性を最大化することに貢献したい。」という想いを込めています。社にはある「良い製品を責任をもって供給する」という使命のもと、「世界中の暮らしや仕事をもっと楽に、楽しくする」企業を目指してまいります。

コーポレートビジョン

マックスが目指している姿

世界中の暮らしや仕事をもっと楽に、楽しくする

人々がマックスを選ぶことで、それまでの暮らしや仕事が劇的に楽になり、一人ひとりが、より豊かで前向きに、仕事や暮らしを楽しめるようになる。そんなポジティブな未来へと進める人を、マックスが世界中に増やしていきたいという願いを込めました。

提供価値

ビジョンに向かって、マックスにできること

新しい常識を創り、ライフパフォーマンスを最大化する

それまで当たり前だと思っていた不便や困りごとをマックスが解決し、なくてはならない存在、新しい当たり前を創ってきました。

マックスは、職場、家庭でタスクを抱えた人の作業パフォーマンスの最大化だけでなく、それによって生まれた心の余裕によって、その人自身の人生の可能性（＝ライフパフォーマンス）をも最大化できる機会を提供します。

マックスらしさ

マックスの一員として、大切に考える考え方、行動の仕方

「Collaborative & Energetic Creative & Fun」

寄り添いつながる 強い使命感 チャレンジングな創造性 楽しさ

今までも、これからも、人に寄り添い、ユーザーが気付いていないような困りごとにも気付き、マックスならではの独創的な発想で解決していきます。

マックスは、当たり前だった不便や手間を減らし、生活を変える、新しい当たり前を創りだす存在であり続けます。

80周年特設サイトオープン! 下記のURLまたはQRコードからご覧ください。

<https://www.max-ltd.co.jp/80th/jp/>





マックス「心のホッチキス・ストーリー」とは

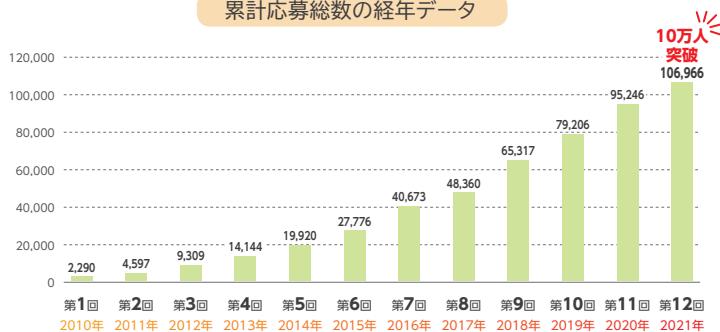
マックス株式会社は、
“あなたが今、心にホッチキスしたいこと”をテーマに
「今の幸せ」「家族の絆」「友だちとの思い出」など
いつまでも心にとどめておきたい思いや出来事を
毎年募集しています。

2010年よりスタートしたこの企画。
全国からたくさんのご応募をいただき、
累計応募総数はこの度10万人を突破し、
106,966件となりました。



マックス 「心のホッチキス・ストーリー」のあゆみ

累計応募総数の経年データ



- ▶ 第2回…高校生以下の応募作品を対象とした『マックス・U-18大賞』を新設。
- ▶ 第4回…『マックス・U-18大賞』を<高校生の部><中学生の部><小学生以下の部>に分割。累計応募総数が1万人を突破。
- ▶ 第7回…累計応募総数が3万人を突破。
- ▶ 第9回…累計応募総数が5万人を突破。
- ▶ 第10回…10周年を記念し、特別企画を実施(『No.10賞』の設定、入賞者にオリジナルグッズのプレゼント、過去の入賞作品を集めた記念冊子を制作)。
- ▶ 第12回…累計応募総数が10万人を突破。
全国の主要図書館に記念冊子を寄贈。

「生徒が日常を振り返る良い機会となっている」「作文やエッセイを書く際の指導に活用している」など、多くの学校で授業や課題の一環として取り組んでいただいています。

マックス「心のホッチキス・ストーリー」の詳細は、特設サイトをご覧ください。

「心のホッチキス」で検索

心のホッチキス



マックス「心のホッチキス・ストーリー」

結果発表

募集期間 2021年8月2日(月)～2021年9月30日(木)

[応募作品の傾向]

学校ではオンライン授業や分散登校から対面授業への移行を模索し、仕事ではリモートワークの定着などによる働き方の多様化が進む現在、社会とのつながりや他者との交流について考える機会が増えた一年となりました。

応募作品には、在宅時間が増えたことで気づいた周囲の人々とのつながりや絆を改めて考えながら、かけがえない思い出や大切にしたい人への感謝を表現する内容が多く寄せられました。



マックス・心のホッチキス大賞

しらすさん (大阪府 / 14歳)

「起きてください。終点ですよ。」これは、僕が中学受験で塾に通っていた時、毎週聞いていた言葉だ。僕が通っていた塾は家から電車で行かないとダメなほど遠い。しかも、塾は8時くらいまであるので、家に帰るのが9時くらいになる。だから塾で疲れている僕は必ず車内で寝てしまう。幸い最寄りの駅が終点だったので寝過ぎことはなかった。それに、終点に着くと決まって誰かが起こしてくれた。そう、「起きてください。終点ですよ。」と言ってだ。そのうち、僕を起こしてくれる人は、だいたい同じ人になった。30代くらいのサラリーマンと80代くらいのおばあさんだ。しだいに、僕はその2人と仲良くなり、車内で寝ることよりも、その人たちと話をしたりすることが多くなった。塾の成績が伸び悩んでいたときに、その2人に相談することもあった。サラリーマンの人からは「僕が君くらいのときは、毎日外で遊んでいて勉強なんてさっぱりだったから、その歳で勉強を頑張っているのはすごいことやで。」、おばあさんからは「若い頃から何かを必死ですることはとても良いこと。たとえそれが苦しくて逃げ出したくて自分自身が潰れそうでも、それを乗り越えた時には成長するもんやから、諦めずに頑張りなさい。」という言葉がかけられた。今でも、自分に自信がないときや苦しくて逃げ出したときにこの言葉を思い出している。このように、たった一言で他人を助けたり、助けられたりする。だから、僕はたった一言から始まる繋がりを大切にしたい。そして、僕は終点に着いたときに、寝ている人にこの言葉をかけたくなる。「起きてください。終点ですよ。」



マックス・U-18大賞 < 高校生の部 >

キリコさん (東京都 / 16歳)

「浴衣を着せてあげるから、奥の棚から好きな持ってきなよ。」今年は夏祭りが開催されないと聞いて落ち込んでいた私に、着付けを習っている大学生の従姉妹、たまちゃんが声を掛けてくれた。浴衣と帯を選び「もっとお腹引込めてよ!」「もう限界〜。」ワイワイ言いながら着せてもらおうと、隣の部屋でゲームをしていたミウたちも「私にも着せて!」と各々好きな柄の浴衣を持って来た。少し殺風景だった和室はあつという間に色とりどりの浴衣で埋め尽くされ、すっかり機嫌の良くなった私たちはタブレットで東京音頭を流し、家中を4人で踊りまわった。「何やってんだい!」騒いでいる私たちに気づいて顔を出した祖母に「おばあちゃんも着るよ〜。」と、半ば強引に浴衣を着せ終えた頃にはみんな大笑い。12歳から85歳。年齢不問の女子会はお祭り以上に盛り上がった。一言で場の空気を変えてくれたたまちゃんは、きっと魔法使いだ。



たくさんのご応募をありがとうございました。
引き続き、マックス「心のホッチキス・ストーリー」を通じて、みなさまが大切な瞬間を振り返り、日常生活の中にある小さな幸せに気付く手助けになれば幸いです。

illustration © Jin KITAMURA

PRODUCTS NEWS

電動リムーバ ERZ-30

書類のスキャン作業を効率アップ
30枚までの書類のホッチキス針を自動で外せる
電動リムーバ「ERZ-30」を発売しました。



商品の特長

書類を挿入し、LEDが照射する位置にホッチキス針を合わせて、ボタンを押すだけで、簡単に、きれいに、スピーディに、ホッチキス針を外すことができます。

近年のペーパーレス化などで書類のスキャン作業が増えており、その際に負担になっているホッチキス針を手で外す作業の手間を大幅に削減します。



高圧釘打機

4段階の圧力切替機構を搭載
手で打ち込み深さの調整ができる
高圧釘打機4機種を発売しました。



商品の特長

釘の打ち込み深さ調整を行うアジャスタダイヤルに加えて、本体に「圧力切替レバー」を搭載しました。

4段階の圧力切替を動力源となるエアコンプレッサを操作せずに手元でできるようにすることで作業の効率化、部材に適した圧力を使用し必要以上のエア消費を少なくすることで連続打ち込み本数の向上を実現しています。

利益配分に関する基本方針と配当について

■ 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけています。

当社はこのたび、株主のみなさまに対し、長期安定的に配当を実施するべく、利益配分に関する基本方針を「事業活動による利益を持続的な成長により拡大し、長期安定的に利益配分を行うこと」に変更しました。

基本方針の変更にあわせて、配当政策を以下のとおり見直しました。

【変更前】

「連結決算を基準に、配当性向40%下限、純資産配当率3.0%を目指す」

【変更後】

「連結決算を基準に、純資産配当率3.5%を下限として配当性向50%を目指す」

この新しい配当政策を当期にも適用し、当期の配当金は前期から16円増配の「1株当たり年間配当金64円」を予定しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031 (受付時間 9:00~17:00 (土・日・休日を除く))
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
単元株式数	100株 当社ホームページに掲載いたします。
公告の方法	https://www.max-ltd.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社ホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京